

# 北の子

浜岡北小学校だより 令和2年度5月号

＜学校教育目標＞

「たくましさ」と「思いやり」で未来をつくる子

＜重点目標＞

進んで関わり 認め合う子

## 今、子どもたちのために大人がすることは

長期的な新型コロナウイルス流行により、感染の心配だけでなく、会社や店舗などの経営難や雇用カット、長引く巣ごもり生活によるストレスなど、多くの人の生活が脅かされています。子どもたちに関しては、基本的な生活習慣の乱れや学力・体力の低下などが心配されます。約10年後の社会を見据えて作成された「学習指導要領」では、「**予測困難な時代にあっても、未来の創り手となるために必要な資質・能力を子どもたちに育むこと**」が重要だと書かれていますが、今回のような世界を揺るがす事態を予測できた人はほとんどいなかったのではないのでしょうか。しかし、現実起きたからには、私たち**大人が子どもたちの手本となって困難を乗り越えていくことが大切**だと思います。きっと、子どもたちはそういった姿から学んだことを生かして未来の創り手として必要な資質・能力を身に付けていくと信じています。

### ◆家庭での取組

長引く休校で子どもや保護者の皆様と直接接する機会がほとんどないため、学校が把握できる子どもたちの様子は限られていますが、最近感心したことが二つありました。

一つ目は、4月22日の臨時登校日でのことです。本の貸し出しがあり、私も手伝いをしていました。本は心の栄養になり知識も増えるなど成長にとって様々な役割を果たしますが、多くの子どもが何冊も借りる姿が見られ、嬉しくなりました。今回着目したことは、**料理や編み物、釣りといった体験に結びつく本の貸し出しの多さ**です。おそらく、家族が共に過ごす時間が増えたことを生かして体験したことがきっかけとなり、興味を深めたためではないかと思えます。経験値の広がりや家族の絆の深まりといった効果も期待されます。

そして、二つ目は、家庭学習の提示方法を時間割制にしたことへのある保護者の対応です。「学校に置き忘れたドリルを受け取りに行きたいが、本来家庭学習をすべき時間帯でもよいか。」という質問がありました。都合により時間割通りに学習ができないこともあるので、そうなることも構いません。嬉しかったことは、それだけ家庭での基本的な生活習慣や学習習慣を大切にしていることです。そういった家庭で育った子は、自分を律する力が育ち、それが将来の自立にも繋がります。



### ◆学校での取組

家庭生活の充実のため、**生活表**を作成したり**家庭学習の提示方法を時間割制**にしたりするなどの工夫をしました。時間割制は高い効果が期待され、北小方式を取り入れるという学校も市内で数校あります。

今後は、休校の延長決定を受け、**子どもたちへの励ましメッセージや学習に関する動画**を職員が作成します。学校のホームページに掲載したりケーブルテレビの「まおまお」で放送をしたりする計画を立てており、視聴した子どもたちの明るい家庭生活や学習意欲の向上に生かされることを期待しています。ただし、動画をもって授業の代替えとすることはせず、学校再開時に改めて授業で指導をしますので、視聴できないことによる弊害はありません。



家庭の状況で、やりたくてもできないことが多々あると思います。また、状況が刻々と変化している中で、困難な対応に迫られることもあります。そういった中でもできることを考え、互いに最善を尽くしていきましょう。**学校教育目標と同じように、「たくましさ」と「思いやり」で未来をつくらうとする姿勢が今の大人にできる子どもたちへの最高の教育**だと思います。

(校長 北原 弘明)

